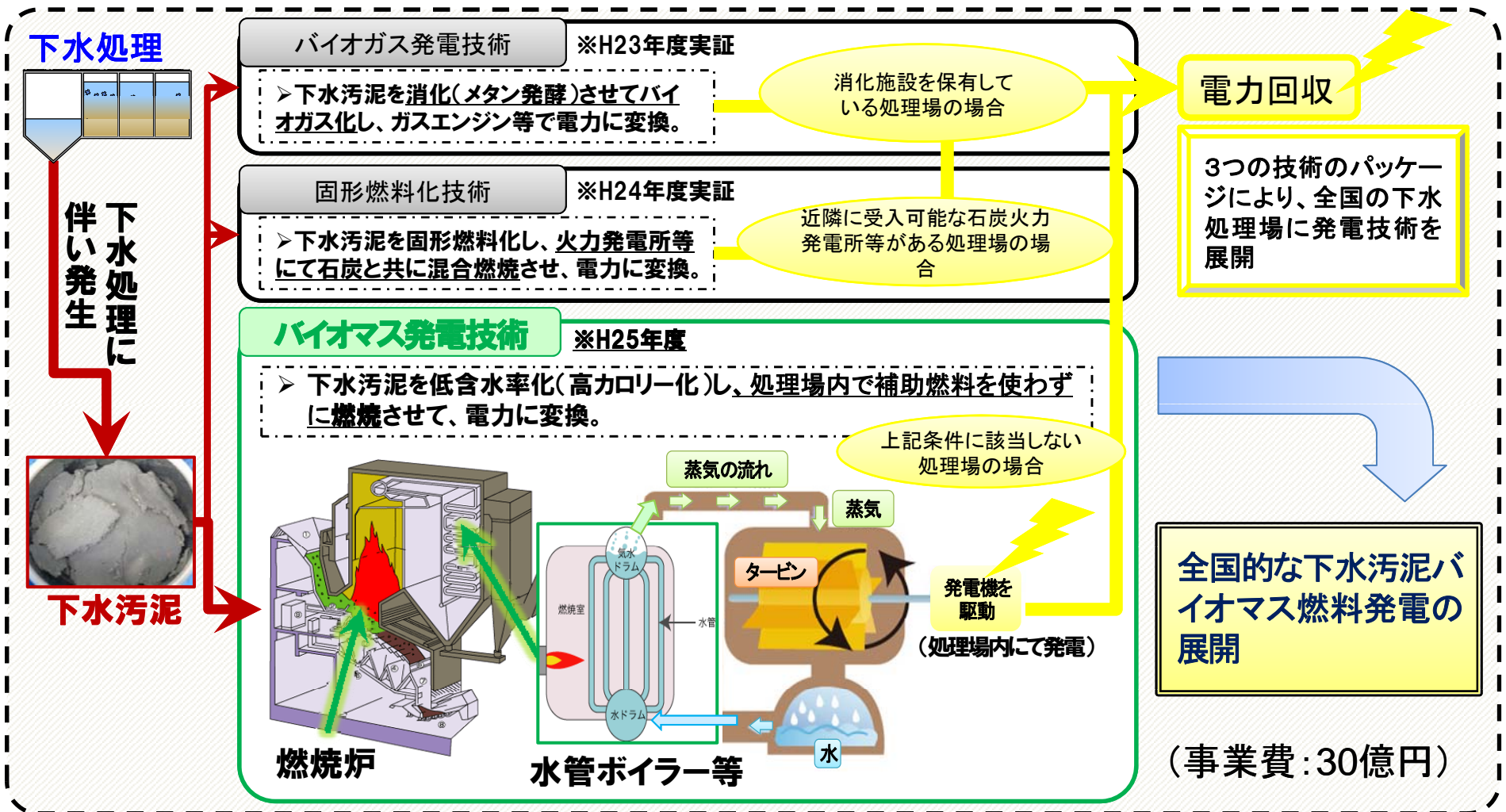


下水汚泥バイオマスを活用した発電技術の実証

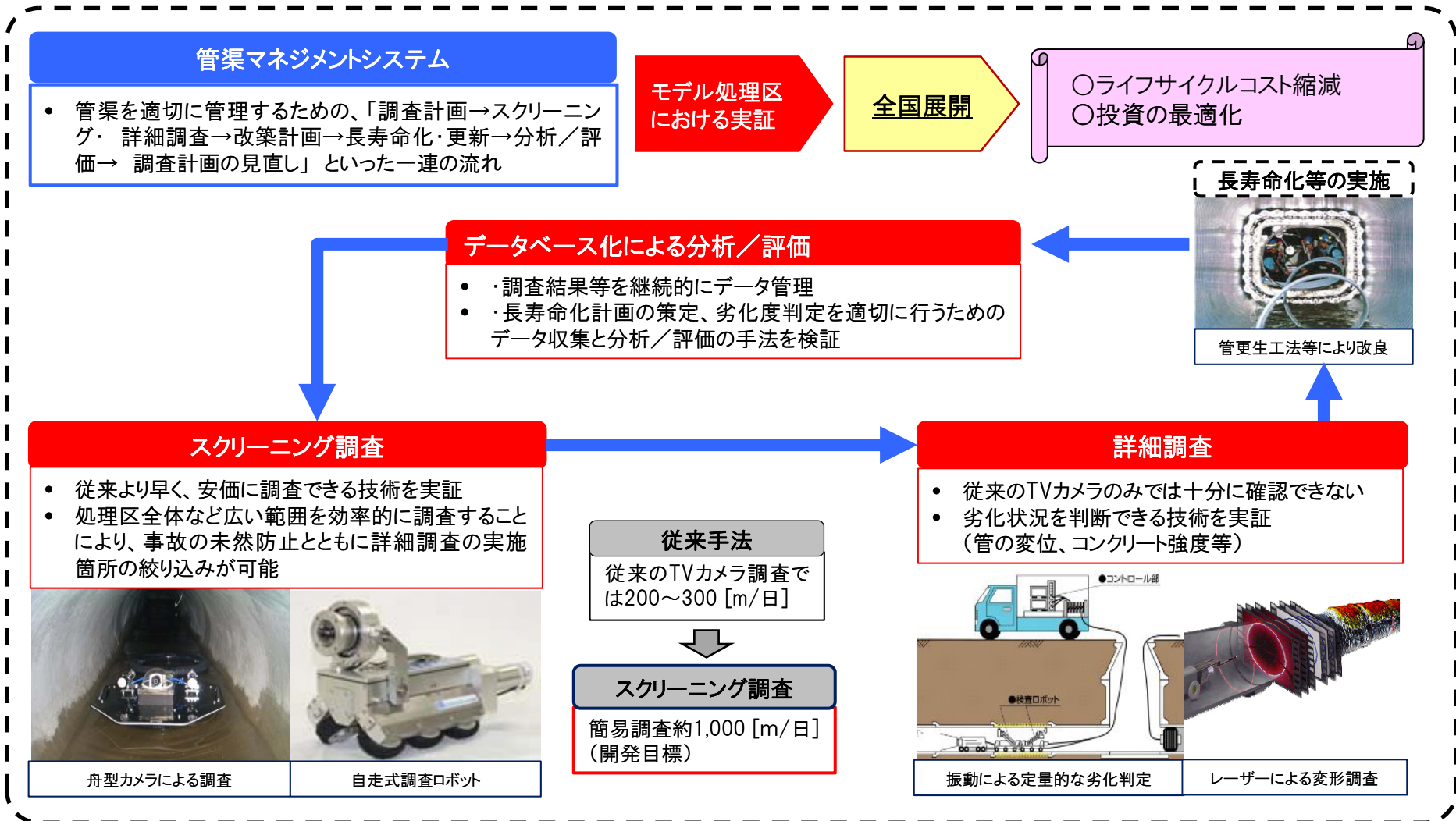
平成25年度

- ▶ エネルギー需給の逼迫や地球温暖化の進行等を踏まえ、下水汚泥バイオマスのもつエネルギーを電力に変換する技術として、下水汚泥バイオマスの燃焼による発電技術を、国が主体となって実証し、再生可能エネルギーの普及拡大を推進する。
- ▶ 実証を通じてノウハウを蓄積し、ガイドラインをとりまとめ、全国の下水処理場への導入促進を図る。



管渠マネジメントシステム技術の実証

▶ 老朽化が進む長大な下水道管渠を適切に管理するため、スクリーニング調査を核とした管渠マネジメントシステム技術をモデル処理区において構築・実証し、管渠のライフサイクルコストの低減と投資の最適化を図る。



(事業費:6億円)